

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年11月28日(2013.11.28)

【公表番号】特表2013-527860(P2013-527860A)

【公表日】平成25年7月4日(2013.7.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-035

【出願番号】特願2013-501931(P2013-501931)

【国際特許分類】

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 4/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 133/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 183/04 (2006.01)

C 0 9 J 4/02 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

A 6 1 L 15/58 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 4/00

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 183/04

C 0 9 J 4/02

C 0 9 J 7/02 Z

A 6 1 L 15/06

A 6 1 F 13/02 3 1 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月9日(2013.10.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

転換可能感圧性接着剤組成物であって、

前記組成物の重量に基づいた重量割合にて、

20%～98%のベース接着剤ポリマーの成分と、

2%～80%のフリーラジカル重合により硬化可能である硬化性分子と、

0.05%～10%の光開始剤と、を含む混合物を備え、

前記ベース接着剤ポリマーの重量割合は、その乾燥重量に基づいて算出され、かつ、前記

組成物は、FINAT試験法No.18によって計測される5N/12.7×12.7mm～100N/12.7

×12.7mmの凝集力とするべく、前記ベース接着剤ポリマーを乾燥中に架橋させるために

フリーラジカル重合以外の機構により硬化可能な内部架橋剤を含む、

転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 2】

前記組成物の重量に基づいた重量割合にて、
40%～98%のベース接着剤ポリマーと、
2%～60%の硬化性分子と、
0.5%～5%の光開始剤と、を含む混合物を備えた
請求項 1 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 3】

前記組成物の重量に基づいた重量割合にて、
60%～95%のベース接着剤ポリマーと、
5%～40%の硬化性分子と、
0.5%～5%の光開始剤と、を含む混合物を備えた
請求項 1 又は 2 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 4】

前記組成物の重量に基づいた重量割合にて、
70%～85%のベース接着剤ポリマーと、
15%～30%の硬化性分子と、
1%～3%の光開始剤と、を含む混合物を備えた
請求項 1～3 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 5】

前記ベース接着剤ポリマーの湿潤重量に基づいた重量割合にて 0.1～6%の内部架橋剤を含む請求項 1～4 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 6】

前記ベース接着剤ポリマーは、ポリアクリレート、ポリウレタン及びポリシリコンからなる群から選択される、請求項 1～5 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 7】

前記ベース接着剤ポリマーは、混合物である、請求項 1～6 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 8】

前記ベース接着剤ポリマーは、ポリアクリレートである請求項 1～7 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 9】

前記硬化性分子は、不飽和化合物である、請求項 1～8 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 10】

前記硬化性分子は、1 個より多い不飽和サイトを有する、請求項 1～9 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 11】

前記硬化性分子は、3 又はそれ以上の複数の官能基を有する、請求項 10 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 12】

前記硬化性分子が、アルコール、グリコール、ペンタエリトリトール、トリメチルプロパン、グリセロール、脂肪族エポキシド、ビスフェノール A を含む芳香族エポキシド、脂肪族ウレタン、シリコン、ポリエステル及びポリエーテルのアクリル酸エステル又はメタクリル酸エステル、及びそれらのエポキシレート種又はプロポキシレート種、並びにそれらの混合物からなる群から選択される、請求項 1～11 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 13】

前記光開始剤は、チタノセン光開始剤；チオニン／トリエタノールアミンを含む染料／助開始剤系；染料／ホウ酸塩系；染料／パーオキサイド系及び、カンフルキノン／第三級アミンを含む 1, 2 -ジケトン／助開始剤系からなる群から選択される、請求項 1～12

のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 14】

前記光開始剤は可視光に対して反応する、請求項 1～13 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 15】

転換後の引き剥がし力の低下が 30%～98%である、請求項 1～14 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 16】

転換後の引き剥がし力の低下が 50%～95%である、請求項 15 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物。

【請求項 17】

請求項 1～16 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物の製造方法であって、前記ベース接着剤ポリマーの成分と、前記硬化性分子と、前記光開始剤と、前記内部架橋剤を暗条件又は赤色光条件下で約 30～60 分間、10℃～40℃の温度にて攪拌するステップを有する、転換可能感圧性接着剤組成物の製造方法。

【請求項 18】

前記攪拌温度が室温である、請求項 17 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物の製造方法。

【請求項 19】

80℃～150℃で乾燥するステップを有する、請求項 17 又は 18 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物の製造方法。

【請求項 20】

前記組成物の溶液を、剥離手段の上に拡げるステップと、それを乾燥させるステップと、を有する請求項 17 又は 18 に記載の転換可能感圧性接着剤組成物の製造方法。

【請求項 21】

請求項 1～16 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物を、接着性ドレッシング材のバックング層にコーティングすることを含む接着性ドレッシング材の製造方法。

【請求項 22】

請求項 1～16 のいずれかに記載の転換可能感圧性接着剤組成物を、少なくとも 1 つの表面にコーティングされたバックング層を備えた接着剤製品。

【請求項 23】

前記バックング層は、光遮蔽層と、透明又は半透明層と、を有する請求項 22 に記載の接着剤製品。

【請求項 24】

前記バックング層は、除去可能な光遮蔽層と、前記接着剤組成物の層と前記光遮蔽層の間の透明又半透明層と、を有する請求項 23 に記載の接着剤製品。

【請求項 25】

医療用接着性ドレッシング材である、請求項 22～24 のいずれかに記載の接着剤製品。